

# 東みよし

6月議会号

しごと  
“未来をつなぐ消防士!!”  
— みよし広域連合消防本部 —

(詳細は16ページに記載しています)

令和6年5月末竣工を目指して

2P

あいあい橋架け替え

真鍋教育長辞職に伴い

9P

新教育長は秋田氏に

10P

一般質問に5人



議会の  
詳しい情報が  
閲覧できます。

# 全長41m・幅2m



あいあい橋完成予想図

## オアシス 新あいあい橋の完成の時期は

### 来年5月末頃完成予定

6月定例会は、6月6日から6月16日までの11日間の会期で開催しました。この定例会では、令和4年度一般会計補正予算・特別会計補正予算など10件の専決処分の承認、令和5年度一般会計補正予算・特別会計補正予算、条例改正、などを審議し、いずれも原案の通り可決しました。

一般質問には5人の議員が登壇し、ハザードマップや地域公共交通などについて活発な質問を展開し、町の考えをいただきました。

**委員** 架け替え「あいあい橋」の経緯はどのようなものか。

#### 産業課長

現在のあいあい橋は、

平成12年3月に吉野川オアシス開業に伴い供用開始され、オアシスと美濃田の淵キャンプ場や県立箬蔵自然公園美濃田の淵との連絡橋として多くの観光客や地元の皆様が親しまれてきた。木造であるため平成30年くらいから腐食が目立ちはじめたので、専門業者による点検を行った結果危険と判

断されたため、令和元年6月から通行止めとしている。地元自治会からの要望や、オアシス、キャンプ場利用者からの要望をうけ、令和4年度に設計費を予算化し、令和5年度に旧橋の除却と新橋の架設を行う予定となっている。

新しいあいあい橋は、長さ41m、有効幅員が2mの規模で、諸事情により完成が遅れることも予想されるが、来年5月末頃の完成を目指している。架橋除却工事費予算5500万円。今議会に架橋整備工事請負費予算1億2500万円を計上しているが、比較的メンテナンスが少なくすむ橋種を採用する。

### 補正

6月定例会に提案された令和4年度と令和5年度の各会計の補正予算は次の通りです。

#### 【令和4年度】

会計名		補正額	補正後の予算額	採決の結果
一般会計(第13号)		▲1億532万3千円	98億9394万9千円	全員賛成で可決
特別会計	国民健康保険事業(第6号)	49万1千円	15億6324万2千円	全員賛成で可決
	公共下水道事業(第3号)	▲685万6千円	1億7708万1千円	全員賛成で可決
	後期高齢者医療事業(第4号)	▲743万3千円	2億2717万5千円	全員賛成で可決
	三加茂財産区(第1号)	▲1千円	15万9千円	全員賛成で可決
	浄化槽事業(第4号)	▲3034万9千円	8474万9千円	全員賛成で可決

【令和5年度】

会計名		補正額	補正後の予算額	採決の結果
一般会計(第1、2、3号)		4億197万6千円	92億5871万4千円	全員賛成で可決
特別会計	国民健康保険事業(第1号)	79万7千円	15億7042万4千円	全員賛成で可決
	後期高齢者医療事業(第1号)	▲372万7千円	2億2629万3千円	全員賛成で可決
	水道事業(第1号)	資本的支出 1500万円	2億250万5千円	全員賛成で可決
	下水道事業(第1号)	収益的支出 45万円	2億4430万6千円	全員賛成で可決
資本的支出 3387万5千円		2億7958万6千円		



木育キャラバン

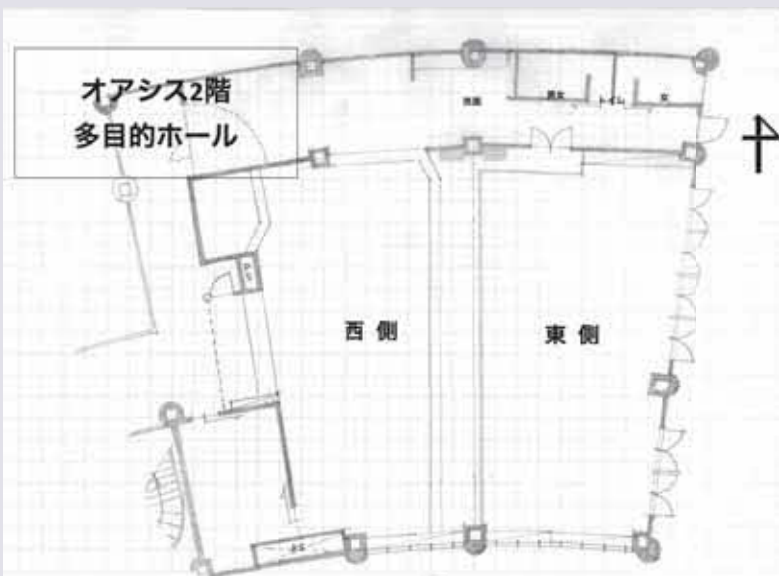
**産業課長** 昨年10月に行った木育キャラバン等の意見を踏まえ、森林の大切さと木に触れ合うことの大切さを基本に、吉野川オアシス二階多目的ホールの西側ホールに木製遊具を配置していく計画である。雨天時におけるの児童の遊び場でもある。

**委員** 事業内容はどのようなものなのか。

# オアシスの木育施設整備事業 整備事業費3670万円

り、オアシス西側遊具との相乗効果もあり、親子で一日滞在できる施設として位置付けを行いたい。東側は多目的ホールの利用がない場合、屋内遊戯場のフリースペースにする。

遊具については、ワークショップを開催して、保護者の意見を聞いてから整備する。木育施設整備工事管理委託料として70万円、遊具等設置委託料として1100万円。整備工事2500万円。



多目的ホールに整備する木育ひろば(仮称)構想案

## 陳情

陳情の名称	代表者	審査結果	採決の結果
国に対し、適格請求書等保存方式(インボイス制度)の延期・見直しを求める陳情書	インボイス制度を考える フリーランスの会 代表 阿部 伸	継続審査	全員賛成

東みよし町議会では、総務厚生、教育産業建設の2つの常任委員会を設置しています。本会議から付託された議案などを6月8日、6月9日に開催された各常任委員会会で活発に審議しました。その主な内容を報告します。

教育 産業建設

## 農 業次世代人材投資事業

### 農業従事者の拡大のため

**委員** どのような事業なのか。

**産業課長** 近年、農業手不足の問題がクローズアップされている。「農業Ⅱ重労働」といったイメージにより、日本人の若者がなかなか集まらず、外国人の技能実習生に従事してもらうケースも増えている。この事業は、次世代を担う農業者と



制度を利用して就農した  
平松雄太さん

することを志向する者に対し、就農前の研修段階及び就農直後の経営確立に資する農業次世代人材投資資金を交付する国の事業である。

今回は、次世代を担う農業者を目指す新規就農者（兵庫県淡路市より1名）に対し、東みよし町で就農直後の経営確立を支援するための経営開始資金である。事業費150万円で、国からの補助事業である。

教育 産業建設

## 地 域活性化起業人活用事業

### オアシスを中心に町の活性化を



着任した関 成章さん

**委員** どのような事業なのか。

**産業課長**

地域活性化起業人制度とは、地方公共団体が、三大都市圏の民間企業などの社員を一定期間受け入れ、その企業で培ってきたノウハウや知見を生かしながら、地域独自の魅力や価値の向上などにつながる業務に従事してもらう制度である。この制度を活用した事業が、地域活性化起業人活用事業である。

今回着任するのは、経営コンサルタント会社・ビジネスポートフォリオデザイン（東京）の社員の関成章さんである。7月から令和8年3月まで、オアシス内のサテライトオフィスで月に12日以上勤務し、令和2年度から実施しているSociety 5.0事業の出口戦略の確立や企業誘致、農畜産物のブランド化、六次産業化などに取り組み予定。吉野川ハイウェイオアシスを中心とする町の活性化を図りたい。事業予算額は462万1000円で、国からの交付金が420万円である。

教育 産業建設

## オ アシス整備事業

### 快適な施設をめざして

**委員** オアシスのどこを整備するのか。

**産業課長**

オアシス 駐車場にある街路灯全体で64基の内

20基しか点灯していない状況である。オアシス駐車場が暗く、防犯上も危険である。街路灯工事を先行し、LED灯に改良する。



オアシスの街路灯を整備

また、オアシス1階観光ステーションの空調施設の改善や入浴施設のポンプ設備修繕を行う。来場者への快適な環境づくりを構築するための事業である。オアシス駐車場街路灯工事に140万円。オアシス1階空調施設修繕・ヒートポンプ関連設備修繕に340万円。



総務  
厚生

# 私

**立保育所等の給食材料費を支援**  
物価高騰重点支援地方交付金事業

## 委員

くらいか。

対象の児童数はどの

150人分135万円を計上。  
現在、主食費、副食費及びおやつ代も含め1人当たり月額6500円を保育所等に補助しているが、令和元年に、3歳児以上の教育・保育の無償化と同時に、食材補助を始めて以来令和5年4月までの消費者物価指数が、およそ13・4%上昇している。6月以降も値上がりが見込まれているため、高騰分1人当たり月額千円を増額し補助するものである。

## 福祉課長

物価高騰の影響を受ける私立保育所及び私立認定こども園に対して、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金事業を活用し、私立保育所30人、及び私立認定こども園120人を見込み、令和5年7月から令和6年3月までの9カ月間、児童1人当たり月額千円の食材費を支援する。

令和5年4月までの消費者物価指数が、およそ13・4%上昇している。6月以降も値上がりが見込まれているため、高騰分1人当たり月額千円を増額し補助するものである。



給食費を支援

教育  
産業建設

# 毛

**田浄水場に遠方監視設備を整備**  
維持管理の安定化のために

## 委員

うのか。

どのような工事を行うのか。

設であり、現在の給水人口は、51人である。毛田浄水場には、水位計や流量計等の計装設備が整備されていないうえに監視設備もないため地元住民の方に維持管理を依頼している。しかしながら水位、流量等の正確な把握

## 環境課長

毛田浄水場は、平成29年3月に東みよし町水道事業と経営統合された旧毛田簡易水道の浄水施設

今回、三好庁舎環境課から監視出来る浄水場遠方監視設備や水位計、流量計、滅菌装置等の計装設備を整備することにより、浄水設備の維持安定化を図り安心・安全な給水に寄与したい。整備費1500万円。



毛田浄水場

教育  
産業建設

# 三

**好浄化センターの設備を改修**  
汚水処理機能維持のため

## 委員

具体的な改築内容を。

200万円。

## 環境課長

三好地区の黒河原谷下流、吉野川左岸に建設されている下水道の終末処理場「三好浄化センター」。汚泥の脱水処理を行っているスクリープレス脱水機2基のうち1基は、平成16年度より運転しているが、経年劣化による処理機能の低下が見受けられるため、改修する。改修工事費1

また、2系統4基体制で行っているオキシデーションデイツ槽水中攪拌機も経年劣化により機能低下しているため改修する。ただし、1基あたりの費用が高額となるため、今回は2基を改修する2150万円を計上し、残り2基は次年度以降に更新する。いずれにしても汚水機能の維持のため、今後も改修が必要と考えられる。



三好浄化センター

教育 産業建設

# 台

風2号による大雨災害が発生  
災害復旧費 1200万円

## 委員

具体的な  
被害状況は。

## 建設課長

5月末に発生した台風2号が梅雨前線と重なり降った大雨により、6月1日から6日にかけて、三好地区山間部の東山滝久保・東山男山・足代中屋各地区において町道が損壊、また足代山口地区では農業用施設1件が被災した。



このため、この4件に対して設計委託料1200万円を計上し、災害査定に向けて復旧工法などを検討していく。

教育 産業建設

# 高

圧電力利用事業者に  
価格高騰重点支援交付金2000万円

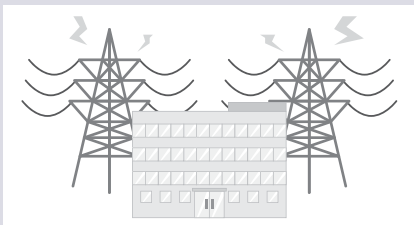
## 委員

どのような  
支給要件か。

## 産業課長

国の支援による電力・ガス・食料品等の価格高騰重点支援交付金を活用するもので、急激なエネルギー価格の高騰に伴い事業者の経営に及ぼす影響を軽減するため、事業者が事業を維持及び経営改善を図ることを目的にし

ている。  
町内の事業用施設で、高圧、または特別高圧電力契約により電力を受けている事業者に対して、1か月使用電力量当たり1キロワットにつき2円を支給金として6か月分を、(上限100万円) 交付するものである。なお、交付申請期限は令和6年2月末日までとなっている。



高圧電力

教育 産業建設

# 学

校の教室にCO<sub>2</sub>モニター整備

感染防止のために効果的な換気を

## 委員

なぜ、CO<sub>2</sub>モニターを購入するのか。

## 学校教育課長

学校保健安全法に基づく学校環境衛生基準及びマニユアルにおいて二酸化炭素



CO<sub>2</sub>モニター

果的な換気について、できる限り1000ppm相当の換気に取り組むことが望ましいとされている。十分な換気ができているかを把握し適切な換気をするためには、二酸化炭素測定器を用いて測定することが必要となる。

素1500ppm以下とされている。また、新型コロナウイルス感染症対策分科会提言において、感染防止のための効果的な換気について、できる限り1000ppm相当の換気に取り組むことが望ましいとされている。十分な換気ができているかを把握し適切な換気をするためには、二酸化炭素測定器を用いて測定することが必要となる。

今回、学校において国の学校保健特別対策事業費補助金を利用し、各学校の普通教室と特別教室の換気を適切に行うため、CO<sub>2</sub>(二酸化炭素)モニターを68個整備する。購入費用71万5千円。

教育 産業建設

# 学

校給食費保護者負担軽減事業  
小・中学生968人が対象

## 委員

どのくらい  
の期間給食費を補助するのか。

## 学校教育課長

国の新型ウイルス感染症対応地方創生臨時交付金における「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付

金」を活用し、コロナ禍における物価高騰の影響を受けた生活者等に対する支援事業として、町外も含む小中学校へ通学する町内に住所を有する児童生徒の保護者を対象に、学校給食費保護者負担軽減事業として2118万円を補助する。

期間は8月〜12月までの2学期間で、その期間の給食費全額。対象の児童生徒は小学生637人と中学生331人で、一食当たりの給食費は小学生が260円、中学生は280円となる。



給食費を補助

令和5年6月12日(月)、委員会室において令和5年第2回地域拠点整備事業対策特別委員会を開催し、吉野川オアシス(株)の宮内社長にご出席頂きました。

## 経営状況

まず、宮内社長から、第25期の経営環境について報告があり、新型コロナウイルス感染症も3年目となり、ワクチン接種が進んだことや、ウイルスの弱毒化により、少しずつであるが、人々への日常の帰帰行動が見られる。高校総体のバスや部活動、お遍路さんのツアー等により外部からのオアシスへの来訪者が増加したとのことであり、オアシスで開催するイベント補助金や西側遊具のリニューアル効果により多くの家族連れの方に来場して頂いたとのことでした。

## 決算の概要

オアシスの第25期の業務委託手数料を含む純売り上げは、1億9

000円前期比197.9%とのこと、部門ごとの詳細な経営状況や改善点等もご説明頂きました。

463万円となり、前期比153.2%と大きく伸び、経費削減の面でも人件費を含めた販売管理費は1億4462万円であり前期比96.5%に縮小できた

また、販売管理費では1億4462万となり前期比96.5%で、大きな費用としては、電気代が2664万となり対前年比111.7%に増加していること等の説明を受けました。

このことであり、当期損失は887万2000円で前期比15.2%であったとのことでありました。

26期の経営方針として、2021年度に策定した10ヶ年の経営改善計画の数値目標を達成し、第27期より始まる借入金の本返済を確実なものとしていく等の方針が示されました。

売り上げについては、物販売り上げが8996万2000円であり前期比で180%、入浴売上で3619万円

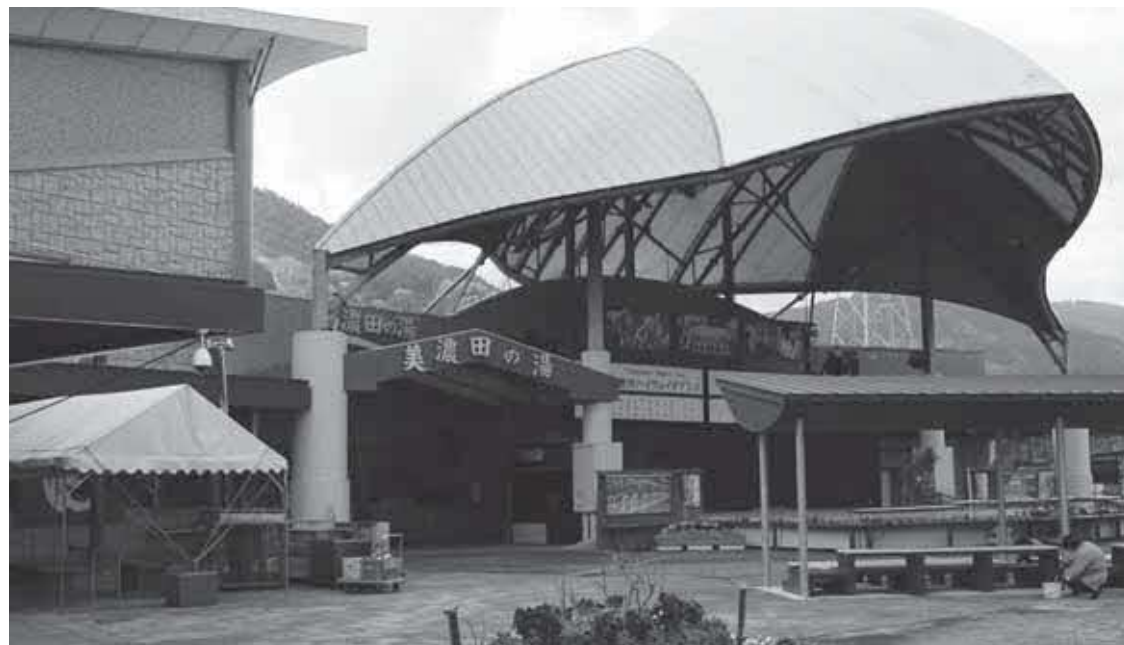
前期比133.3%、飲食売上3940万4

前期比133.3%、飲食売上3940万4

## オアシス全般について

産業課からは、吉野川

オアシス2階の吉野川テラワークオフィスの稼働状況の説明を受けるとともに、誘致活動については大規模都市圏での企業誘致関連のイベントや徳島県の主催する誘致活動等も兼ねてテレワークオフィスの利用促進を図ることや、同じくオアシス2階の多目的ホールに整備する木育施設について、他の自治体の現状を調査し管理人を配置しなくてもいい形態等で考えている等の想定でありワークシヨップで児童の保護者の方のご意見を聞き進めて行きたいとの説明がありました。



経営が回復しつつある吉野川ハイウェイオアシス

で観光PR動画を流したりどうか、遊具の利用について幼児等が遊びづらいう状況になっているので

対象年齢等の表示やマナーを守ろう等の看板が必要ではないかとの意見がだされました。

6/12

# 庁舎統合建設等特別委員会

第15回庁舎統合建設等特別委員会は、6月12日、午前10時より委員会室において開催しました。

## 増築庁舎の基本設計

まず、白木総務課長から三加茂庁舎北側駐車場の建設予定の分庁舎の基本設計が示され、配布された資料の完成イメージ図や平面図、立面図、配置図の説明を受けました。

デザインコンセプトとして、三加茂庁舎に



南西側から見た分庁舎（イメージ図）

東西に長方形の建物となり、正面玄関は南側に位置付けられ、三加茂庁舎の北側入口を渡り廊下でつなぐとのこと。建屋の西側には西日対策や西側からの見え方を意識してパネルルーバーを配

置する。1階には企画課と産業課を、2階には建設課と環境課を、3階には総務課、危機管理課や会議室、町長副町長室を配置し、災害時には会議室と総務課、危機管理課を開放し、災害対策本部に、駐車場は北側に30台と車いす用1台分、南側に駐車場に20台、町道を挟んだ西側駐車場に55台分を確保。現在、南側と西側の駐車場は職員の駐車場としていたため、旧三加茂中学校跡地を整備し、職員用の駐車場や公用車の駐車場にすることです。

また、三加茂庁舎東側に建設を予定していた分庁舎の設計面積は約2200平方メートルでしたが、約470平方メートル少ないコンパクトな設計となっており、会議室や倉庫のスペースを主に削減したことです。

委員の中から、「身障者の駐車スペースを増やしてはどうか。男性トイレと女性トイレの便器の配置を変えてはどうか。駐車場は南側・西側駐車場を来庁者用にすることにより、現台数を確保することになったが、来庁者が西側駐車場から町道を渡ってくる際の安全確保のために横断歩道の設置や大きなイベントの時にはガードマンを配置するようにしてはどうか。三加茂庁舎の非常用電源を屋上に配置するように以前は計画していたが、どのようにするのか。シャワールームを作つてはどうか。町バスの乗降場所の変更、庁舎の東側から車が進入できるようにしてほしい。渡り廊下を盛り上げて車の速度を落とすようにしてはどうか。」などの、意見や提言が出されましたが、これからの詳細な実施設計に反映したいとの答弁がありました。

また、分庁舎建設後に教育委員会を現在の町長・副町長室や総務課があるところに配置することだが、教育委員会は新しく建設される予定の中央公民館に配置してはどうかとの意見が出ました。真鍋教育長から、中央公民館建設検討委員会の答申を15日に町長へ提出予定である。その議論の中で、座長を務めて頂いている高知大学の内田教授から公民館の中に行政機関を置くのは好ましくないとご意見を頂いている。答申の中で、公民館のありかたも検討している段階である。町長部局と近いところにあるのが望ましいので、ご理解いただきたいとの説明がありました。

## 委員からの意見

入札と発注を  
来年4月ごろに

## 基本設計を承認

その後、委員に提示された基本設計を承認するかどうかを諮ったところ、承認しないとの発言があり、採決した結果、承認するに11名、承認しないに2名で、承認することが採択され、直ちに実施設計に取り掛かるようお願いしました。

以上が審査の主な内容です。理事者には、事業の進捗があれば速やかに報告して頂くようお願いし、委員会を閉じました。



南西側 下から見上げた分庁舎（イメージ図）



# 第1回臨時会

6月27日(火)に開催した第1回臨時会では、真鍋孝之教育長が6月末で退職するのに伴い、後任に秋田正弘氏(62歳)昼間、秋田氏の後任の教育委員に田岡茂樹氏(63歳)西庄の選任に同意しました。

## 東みよし町教育委員会の構成

東みよし町教育委員会は、教育長と4人の委員により組織されており、いずれも町長が議会の同意を得て任命しています。教育長の任期は3年、委員の任期は4年です。

教育長は、教育委員会の会務を総理し「教育委員会の会議を主宰する」、「教育委員会の権限に属する全ての事

務をつかさどる」、「事務局の事務を統括し、所属の職員を指揮監督する」、教育委員会を代表します。

また、教育委員は、教育長に対するチェック機能を果たすため、会議の招集や教育長が委任された事務の管理・執行状況の報告を求めることが出来ます。

### 教育長



あきた まさひろ  
秋田 正弘 氏

### 教育委員



たおか しげき  
田岡 茂樹 氏

役職名	氏名	任期
教育長	秋田 正弘	令和5年7月1日～令和6年7月31日
教育委員※	田岡 茂樹	令和5年7月1日～令和7年5月17日
教育委員	三木 一将	令和5年5月18日～令和9年5月17日
教育委員	荒 操	令和2年5月18日～令和6年5月17日
教育委員	三好 章文	令和4年5月18日～令和8年5月17日

※職務代理者：地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13号2項の規定により、教育長に事故があるとき、又は教育長が欠けたときは、あらかじめその指名する委員が職務を行うことになっています。今回、秋田教育長から教育長職務代理者に田岡茂樹氏を指名しました。



講演する本田利広氏

## 6/21 美馬三好郡 町議会議員研修会

6月21日(水)、中庄地区の「高砂」において、美馬三好郡町議会議長会(つるぎ町と東みよし町の2町)が主催して、議員研修会が開催されました。講師には、元四国大学経営情報学部教授 本田利広氏を招き、「地方議会と侍ジャ

パンく住民が求める議員像とは」と題して、地方議会の課題や自治体職員との関わり方、議会の機能と議員の権限等の講演がありました。今後の議会活動に生かすべく熱心に拝聴しました。

## 調査研究

## 視察報告

## DATA

## 島根県出雲市

出雲市は、島根県の中東部にある市。島根県内では2番目となる人口を抱え、出雲大社をはじめ多くの観光名所を有する。

人口 17万1021人

面積 624.36平方キロメートル



庄原駅駅舎

## 教育産業建設常任委員会

教育産業建設常任委員会では、本町が抱える課題の解決をテーマとして、先進自治体の取り組みを調査研究することとし、令和5年3月22日・23日に先進地視察を行いました。

『有害鳥獣駆除について』は島根県美郷町、『JR駅舎の活用について』は島根県出雲市の庄原駅、『脱炭素化について』は岡山県真庭市のバイオマス施設を訪問し、その取り組みを調査研究してきました。

委員会では特に、JR四国が計画している阿波加茂駅舎の簡素化について、老朽化した駅舎を譲り受けて町がお金をかけて存続させるのか、またJR四国の計画通りに駅舎を取り壊し、簡易な駅舎とするのか否か。をテーマとし、視察の結果のまとめを行い、町長に提言しました。

## 出雲市の取り組み

庄原駅は、島根県出雲市にある、西日本旅客鉄道（JR西日本）山陰本線の駅です。1910年に国鉄の駅として開業。出雲空港の最寄り駅になっており、近年の一日

平均乗車数は350人前後。平成30年に、JR西日本米子支社から、出雲市内にある無人駅の改修について連絡があり、1日の乗降者数3000人以下で、築60年以上の駅舎について、維持管理経費の削減のため駅舎の改修（シンプル化）を行うとのこと。

JR西日本から提示された庄原駅の改修計画については、平成30年9月に新駅舎の設計・発注、1月に駅舎の解体、新待合室の設置（15平方メートル）、トイレ及びホーム待合室の撤去、平成31年5月に新駅舎完成、6月に使用開始というものでした。

この提示を受けて、市の総合政策部交通政策課では、出雲市議会総務委員会や全委員協議会でJRからの提案を説明しました。また、庄原地区自治協会及び湯の川温泉旅館組合から市へ現行の駅舎を維持してほしい旨の要望がありました。そのため、この2団体と協議を行い、JRから提案があった待合スペース（15平方メートル）では狭いであるため、利用者の状況や地元からの要望を勘案して現行程度のスペースを確保する。トイレについては、撤去により乗降客の利便性の低下を招くことから整備するという案

をまとめ、待合室とトイレが一体化した駅舎を市が新たに整備するという方針を決めました。整備する駅舎は木造平屋建てで、延べ面積58平方メートル程度、通路を挟み、右側には待合スペースを、左側には多目的トイレ、男性トイレ（洋式トイレ1、小1）、女性トイレ（洋式トイレ2）を配置。なお、地元住民から約200万円の寄付があり、そのお金で駅舎の壁面に出雲神話にちなんだ模造剣を飾り、大国主命などの石碑などを設置しています。このように、庄原駅は地元の方と協議の上、駅舎を解体撤去したのちに、新駅舎を建築しています。

## 町の取り組み

3月に開催された委員会の中で、町の報告では駅舎を管理委託している「さくら広場振興協議会」と話し合いを行い、取り壊しの了承を得ている。また、町は、平成22年10月から無人駅となった阿波加茂駅を、平成23年に賑わいの創出や地域活性化を目的に約1400万円かけて改修した。誰でも自由に使えるコミュニティスペースを開設計画と生け花の2団体が主に使用してきた。この

2団体とも話し合いをしており、取り壊しの了承を得ている。駅舎の管理団体と、コミュニティスペース利用者2団体から取り壊しの方針を納得していただいている。とのことでした。

## まとめ

阿波加茂駅の駅舎についても、JR四国に解体撤去して更地にしていただいているから、庄原駅と同様な駅舎を町が整備してはどうか。木造平屋建てで、待合スペース、多目的トイレ、男性トイレ（洋式トイレ1、小1）、女性トイレ（洋式トイレ2）を配置する駅舎にしてはどうかとの委員の意見の集約ができました。

## 町長に提言

一、現行のJR阿波加茂駅の駅舎は、JR四国に解体撤去していただく。  
一、その後、町が新たに木造平屋建てで、待合室とトイレが一体化した新駅舎を建設する。  
一、使いの良い駐車場を整備する。

# 5 議員

9項目の質問を行い、町の考えをたどりました。

# まちの考えを問う

## 带状疱疹ワクチンの公費助成を

健康づくり課長 ▼ 国県の動向を注視する



よこぜき 横関  
みちえ 道恵議員

### 横関

带状疱疹は、水ぼうそうと同じウイルスで、水ぶくれを伴う赤い発疹が体の左右のどちらかに帯状にできる皮膚の病気である。

80歳までに約3人に1人が発症するといわれている。日本人成人の90%以上は、このウイルスが体内に潜伏していて、带状疱疹を発症する可能性がある。

また、皮膚症状が治った後も、50歳以上の方は、带状疱疹の発症リスクが高くなる傾向があり、約

2割の方が長い間痛みが残る带状疱疹後神経痛（PHN）になる可能性がある。ワクチン接種して免疫の強化を図ろうというのが带状疱疹の予防接種である。

2016年から50歳以上の方に対してワクチン接種が可能となったが、不活性化ワクチン接種費用（1回／2〜3万円・2回接種 ※接種金額は医療機関によって異なる）が高額である。発症を予防するとともに町民の負担を軽減するため、

带状疱疹ワクチン任意予防接種費用の一部を助成してはどうか。

### 健康づくり課長

带状疱疹ワクチン接種費用の助成については、全国的には費用の一部助成の自治体もあるが、徳島県内の市町村ではどこも実施していない。国の厚生科学審議会においても、期待される効果や導入年齢、定期接種化が検討されていることから、その動向を注視していきたいと考えている。

带状疱疹ワクチン接種費用の助成については、全国的には費用の一部助成の自治体もあるが、徳島県内の市町村ではどこも実施していない。国の厚生科学審議会においても、期待される効果や導入年齢、定期接種化が検討されていることから、その動向を注視していきたいと考えている。



背中にできた带状疱疹



不活性化ワクチン シングリックス

## 一般質問

# 農地法改正等による町の農業政策は

産業課長 ▼ 令和5年度での開催実施計画策定



よねもと 米本 恭助議員

## 米本

令和5年  
4月1日から

農地法の下限面積要件がなくなり、日本の場合国籍が国内、国外、企業、その他だれであつても、特定の要件を満たせば農地を自由に買ったり売ったり借りたり貸したりできるといった事になった。そのことは、空き家対策の場合、小面積の農地も一緒に買える事になる。また集団農地の中に太陽光パネルが点在すると、集団農地の価値がなくなる可能性がある。

## 産業課長

下限面積

要件廃止は、国の農地政策の大転換点。

そして、米価の低迷、

肥料の高騰、米作面積縮小による小作地返還など米作りを取り巻く環境は悪化している。今後、東みよし町の農業の未来をどのように描こうとしているのか。そのため、必要な規制を農業委員会と共にとのようになっているのか。今後における町の農業政策ビジョンは、どのようなものなのか。

農林水産省は半農半<sup>エックス</sup>Xを地域で位置づけて行くことになる。そして、宅地つき農地の物件の流動化



ブロッコリー

が図られ、今までより農地の取得に向けてやや門戸が広がった感があるが、取得申請の際には農作業従事要件の確認や営農意欲をお持ちかどうかのヒアリングを行い、本当に農業をしたい人が農地を取得できる体制を整えていきたい。

今回の法改正により地域計画の策定が求められており、農用地区域の設定と農業上の利用が不可な保全区域の区域分け等将来にわたった農地の利用方法を検討する。この作業の中で、近年、ソーラーパネルが設置された農地が増えた中で、パネルに囲まれた農地が利用しにくい等の弊害が発生していることから、今回の地域計画の策定に当たり、地域の担い手の方々の意見を十分に聞き、将来の農地の姿を定めていかなければならないと考えている。



農地法の改正で

また、農地の保全に向けて、管理する農家の方が借手から農地を返却されたときに今後どうしていくのか、管理する機械器具類についてはどうするのかとの対応については、現在、実施方法等を検討中である。

見を出来るだけ集約し、アンケートも実施し、東みよし町農業の将来ビジョンを描いて行きたい。

計画策定時、農家の意

# 高齢者の見守り活動の充実を

福祉課長 ▼ 今後も検討していく



まつした かずとし  
松下 一俊 議員

## 松下

日本は、地方から都会へ

の若者の人口流出とともに、少子化による人口減少など、多くの問題を抱えている。本町でも、その問題に直面しており、速やかな対応が迫られている。令和2年度の東みよし町の高齢化率は36.5%

となっており、全国平均を大きく上回っており、徳島県の平均をも上回っている。

その中で、高齢者だけで生活されている家庭を見守るため、民生委員や福祉委員がその担い手となっているが、それぞれの委員の数、また各地区



高齢者の見守りを

月1回の配食サービスを行っている。

民間事業者の見守りに関しては、町内全体の見守りとして、徳島新聞販売店や徳島生協、日本郵便株式会社と協定を締結し、協力をいただいている。また個別の見守りとして、急病や災害など、緊急時に迅速な対応と不安感を解消するための、緊急通報装置貸与事業を実施している。昨今、多くの企業が見守り事業に参画しており、役割や費用を鑑み、すべての住民が安心して暮らせるよう、今後も検討していく。

## 福祉課長

現在、本町の民生委員

は児童委員なども含め40人で構成している。福祉委員は三加茂地区のみで組織されており、本年4月1日現在134人、各自治会に2人から5人の委員がいる。また、各委員の訪問や社会福祉協議会を中心に、ボランティアグループにもお願いし、

# ハザードマップをわかりやすく

危機管理課長 ▼ できるだけ早く修正する

## 松下

町は、ハザードマップ

を各家庭に配布しているが、非常にわかりにくい。常に変更していく状況に対し、ハザードマップの更新はどれくらいで行われるのか。

本町と同様に山間地も多い大阪の河内長野市では、行政が各地区を回り、地元住民から過去に起こった災害や、常に不安視されている情報を聞き、それを書き込んだ各地区単位での細やかなハザードマップを作成している。

## 危機管理課長

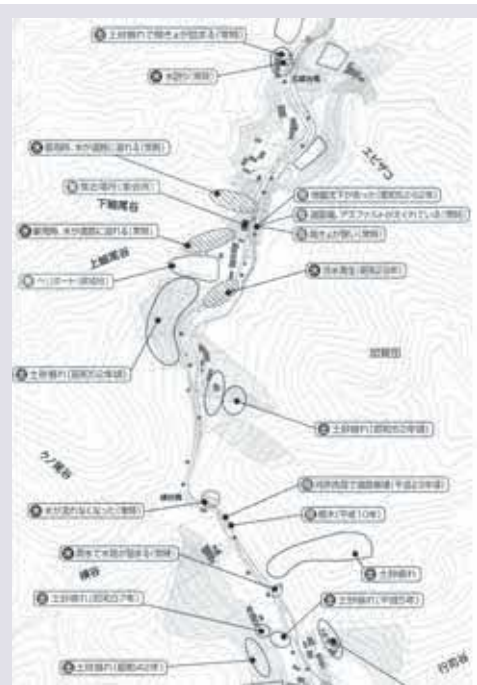
現在のハザードマップ

は、河内長野市のように具体的な情報を備えたハザードマップが必要であると考えるが。

## 危機管理

修正を行う時期に合わせ、地区別での詳細を記載したものの追加

も検討する。その中で、危険区域の見直しとともに、過去に起こった災害箇所や近年の災害記録も追記できるように検討し、町民の皆様が、災害に対する備えを行えるよう取り組んでいく。



河内長野市の具体的な情報が入ったハザードマップ

# 一般質問

# 地域公共交通の課題解決に向けて

企画課長 ▼乗合タクシーを実施する



増井 すすむ 議員

**増井** 町の地域公共交通の様々な課題の解決に向けて、どのような計画を進めているのか。

**企画課長**

町営バス や民間路線

バスが運行されていない地域など公共交通空白地域については、8月より実施する乗合タクシーで解消できると考えている。

また、令和7年10月からは、三好市営バスとの連携を予定しており、三好市営バス路線が、吉野

川南岸を経由して池田町へ至るようになり、乗降制限を廃止し、どの区間でも町営バスや市営バスを利用できるようになる。

スクールバス混乗化及び運転免許自主返納者への優遇措置については、引き続き検討していく。今後、東み

よし町地域公共交通計画により、町民の皆様にとつて、効率的で利便性の高い公共交通

通体系を構築していく。



公共交通の充実を

# コンビニ等における証明書等の自動交付を

住民課長 ▶導入の要否を総合的に検討していく

**増井**

最近、町民の方から住民票や戸籍謄本などの証明書等を三好市や美馬市ではコンビニ等で取れるのに、東みよし町はなぜ取れないのかという質問をよく受ける。導入のメリットは、やはり一番は住民サービスの向上であると思う。具体的には、利用時間が朝の6時半から夜の23時まで、土日、祝日も利用できる、申請書を書かなくてもよい、全国のコンビニで取れるので、町外生

活者や大学生等はとても便利である。

住民サービスの向上をはじめ、窓口業務の負担軽減、マイナンバーカードの利用促進など、様々な導入メリットのあるコンビニ等における証明書等の自動交付を実施してはどうか。



コンビニで証明書の発行を

**住民課長**

現時点では、社会実現のための各種施策と歩調を合わせてできるだけ早く導入すべきか、拙速な導入を避けて、今後のデジタル化に対する住民心理や全国的な導入状況の変化等、諸事情を勘案して、慎重に導入するべきか、導入の要否について、総合的に検討しているところである。しかし、国は、行政手続きのオンライン化等、積極的にデジタル化を推進し、デジタル社会早期実現をめざしている。この全体的な流れの中で、本町もデジタル化を推進する必要があると考えている。

# 庁舎増築についての考えは

町長 ▼ 住民説明会の予定はない



よしだ えつこ 議員

**吉田**

増築庁舎の  
建設場所を変

えるのだから、住民と理解し合えるためには説明会を開くべきだ。三加茂庁舎北側への増築棟建設によつて、庁舎前の駐車場が大幅に減つてしまう。

また、庁舎西側の駐車場を使うのは町道を渡らねばならず、危険で不便であり、町民に負担をかける。町民の方からも町道を渡るの危険だという声をたくさんの人から聞いたが、町の考えは。

**町長**

前に住民説明会は4度開催している。監査委員からの指摘もあったと

おり財源としての合併特例債を活用するためには早期に事業を進める必要がある。進める上では、最小の経費で最大の効果および必要かつ最小の限度にすべく可能な限りコンバクト化を検討し、計画的、着実な事業の執行に努める。



北側駐車場

住民への説明については、開催する予定はない。特別委員会での承認後、町のホームページ等で周知させていただきます。

駐車場については、西側駐車場は低地で、豪雨時に浸水の危険度が高いことは事実だが、事前に移動する等の対応が可能なので、問題ないと考える。また、駐車台数については、職員は旧三加茂中学校跡地を駐車場にするので問題ない。町道を横断することについては、今まで交通事故等の発生はなく、庁舎までの距離も近いことから支障はないと考える。

# あいあい橋の今後の計画は

産業課長 ▼ 橋の架け替えに1億8000万円

**吉田**

あいあい橋は、平成

12年に吉野川ハイウェイオアシスの開業に伴つて造られ、生活道路や観光のために親しまれてきた。しかし、令和元年に危険だといふことで全面通行止めになり、現在に至つている。この間僅か20年余り。この教訓をどう生かし、進めていくの

か。現在の進捗状況と今後の予定はどうなつているのか。

**産業課長**

専門業者による点検

や現況等を精査し、危険と判断されたため、平成元年6月3日から通行止めとしている。強い地元住民の方々の要望により、令和3年12月議会で設計費20

00万円が議決され、令和5年当初予算で旧橋の除却費5500万円の予算措置が行われた。除却費の主な内容は、旧橋を取り除き標識を移設するための工事。構造物の撤去や取り壊し工事等の関連費用である。

新橋の下部工事は、既設の橋台を一部改造して利用し、上部工事には比較的メンテナンスが少なく済む橋種を採用する予定。6月補正予算に計上しており、予算額は1億2500万円。

## その他の質問

**問** 学校以外でも学ぶ場をつくつてはどうか。

**答** 町が主体となつてない。塾的な事業は行わない。



対応が急がれるあいあい橋

議会を傍聴  
しませんか

皆さんが選んだ代表が  
議場でどんな発言をして  
いるのか自分の目と耳で  
お確かめください。

どうぞお気軽にお越し  
ください。

定例会は年4回(3月・  
6月・9月・12月)に開か  
れます。

日程・手続き等は議会  
事務局へお問い合わせく  
ださい。

TEL 82-6317



次の定例会は  
9月中旬です。

テレビ放送を予定しています。



●シリーズ61●

頑張る

## 東みよし町の 仕事人



吉本 りりかさん

- 吉野川市出身、  
東みよし町在住
- 令和3年度採用
- 階級：消防士
- 勤務形態：隔日勤務



吉本さんは、みよし広域連合消防部本部  
東消防署の一員として、現在、警防活動  
や救急を主として活動しています。また、  
火災を未然に防ぐ予防係で、消防用の設  
備が設置・維持されているかなどを確認  
するため立ち入り検査も行っています。

問

なぜ消防士になろうと思ったの？

中学校の避難訓練で、消防士の方  
が消火器の扱い方を教えてくださ  
り、実際に消火訓練を行いました。  
この体験をきっかけに、消防士とい  
う職業に興味を持ちました。

問

目指す消防士の姿は？

現場でも男性に劣らない活動をし  
て、女性であることを武器にメンタ  
ル面での緩和や女性の視点で活動  
し、消防業務の質を高められる消  
防士を目指します。

問

東みよし町に住んでみてどうですか？

周りの人はやさしく、住みやすい町  
だと思います。



## 編集後記

▼この3年余りにわたり、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策のために経済社会活動や地域コミュニティが制限されていましたが、今年5月に感染症法上第5類に移行したことで、地域の経済活動・文化活動等が以前のように活性化しているようです。

▼また、マスクの着用は自主判断となり、久しぶりに皆様の笑顔を見ることができるようになりました。

▼庁舎建設・あいあい橋架け替えについては、竣工に向けて進んでおります。中央公民館建設は、検討委員会より町長に報告書が提出され、これから建設に向けて議会で審議されることとなります。詳細については「議会だより」に掲載してまいりますので、多くの皆様に読んで頂きご意見をよろしくお願い致します。

広報特別委員会 委員 三好 正治